



奥 陽治
公明党
(35分)

**将来のまちづくりへの
人材育成と若者の雇用対策は**

問

①車座トークでいただいた生の声の政策への反映は。
②若者の雇用対策は。
③高校生議会を開催する目的は。
④市税の利便性の高い納付方法の導入は。

答

①24学区で開催し、いた



宮本 宏樹
公明党
(40分)

高齢社会における交通対策は

問

①運転免許証の自主返納者への対応は。
②高齢者支援事業の課題は。
③高齢者等の移動手段の確保は。

答

①自主的に返納するために返納後の交通手段の確保が課題であり、引き続き乗合タクシーや高齢者おでかけ支援事業などを推

いた意見は速やかに庁内で共有しスピード感ある対応に努めている。
②若者が安心して働けるような良好な労働環境の整備が必要と考え、市内の各企業に国の施策の周知や関係機関への紹介を行っている。
③若者が選挙や政治全般へ関心を高めていくことを目的とし、参加した若者が福山の未来に関心を持ちまちづくりに主体的に関わっていくような人材育成につなげたい。
④「Web口座振替受付サービス」や「ペイジー収納サービス」など効率性や市民ニーズを総合的に判断する中で導入を検討する。

進する。

②高齢者おでかけ支援事業、買物支援事業において事業の担い手である運転ボランティアの高齢化やなり手不足などが課題であり、社会福祉協議会等諸団体と協議を深め、早急に有効な方策を講ずる。
③バス路線の利便性向上に加え、住民との協働による地域実態や利用者ニーズに対応した取り組みが重要であり、今年度から2力年で再編実施計画を策定する予定である。



生田 政代
公明党
(30分)

起立性調節障害の児童生徒への対応は

問

学校に行きたくても行けない、引きこもりにつながることもある起立性調節障害について、教育委員会の認識と学校現場での対応は。

答

起立性調節障害は、立ちくらみ、目まい、息切れ、頭痛など



宮地 徹三
公明党
(60分)

市長の市政運営は

問

市長の現在の思いは。

答

本市は今、次なる100年へと踏み出す重要な時期。これまでに福山駅前再生でリノベーション手法の検討、福山ネウボラを開設。福山城築城400年の取り組みも基本方針が固まるなど、5つの挑戦が具体的に始動。100年

を伴う自律神経失調症であり、朝なかなか起きられない、目が覚めても頭痛や腹痛がして寝床から出られない等の症状があり、学校生活における影響もあると認識している。

児童生徒が起立性調節障害の診断を受けた場合、学校では全教職員が症状についての認識を共有し遅れて登校した際などは、受容的な声掛けや保健室等での学習を促すなど、体調に寄り添った対応に努めている。

先も輝きを放つ福山市であり続けるため、市民の福山への熱い思いと一人一人の力をまちづくりに生かしていくことが大切と考える。

年金制度改革は

問

無年金者救済の具体は。

答

公的年金の受給資格期間が25年から10年に短縮され本年8月から施行。対象の無年金者へは年金請求書が順次送付されている。本市は2418人が対象で、6月16日現在、年金請求者は821人。日本年金機構と連携を図り制度の周知と請求漏れ防止に取り組む。

※ペイジー収納サービス：スマートフォンや自宅のパソコンからインターネットを利用した納付やATMを利用した納付に対応する収納サービス。現金を用いることなく24時間どこにいても納付が可能となる。